



### 手作りボルダリングを設置しました

まごころライトの1Fと2Fの階段の踊り場の壁をボルダリングにしようという構想が夏前から始まり、部品などを集め、子ども達とコンパネ 16 枚に山に見立ててペンキを塗り、まごころふれあいまつりの1か月前に完成。デイの主活動で子ども達と一緒に体験しました。

ボルダリングとは、ホールドに手や足をかけて渡りきるというもので、最初は、興味を持つだろうか？危険なのでは？と色々想像しました。始めてみると興味を持つ子が多く、で、2回、3回と回数を重ねるうちにどんどん上手くなり、落ちずに渡り距離を伸ばす子や、ホールドを全部さわってゴールする子など様々です。再度、階段の踊り場に設置しました。利用する子ども達皆が、楽しんでクリアできるようになるといいなと思います。



わたりきったぞ~!!



のぼりきったぞ~!! どんなんもんだい!



### デイサービス通信

#### ボランティア職員さん

10 月の中旬より、一宮市役所の 9 人の職員さんがデイサービスのボランティア実習に訪れました。職場で 4 年目を迎え、高齢者とふれあつてのボランティア体験はとても有益なことだと思います。体験された職員さんから感想をいただきました。

『一宮まごころで、ボランティア実習をさせていただきました。

初めは緊張しましたが、利用者さんの誕生日と一緒に祝いしたり、協力してゲームに取り組んだり、家族のような温かい雰囲気の中で過ごすうちに、あっという間に時間が過ぎてしまいました。利用者さんや介護スタッフの皆さんの笑顔に触れ、これが元気の源だと実感しました。

私も仕事柄、市民の方とふれあうことが多いので、相手と歩調を合わせてコミュニケーションを図ることを意識していきたいと思っています。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

秘書広報課 飛田 千晶』



### 心づれづれ



#### 私のふるさとを紹介します

今年からまごころの児童デイで働かせて頂くようになって、将来の為に金銭の管理や時間の使い方など考えなければと痛感しています。また、長年あまり帰っていない地元のことを思い出しましたので、少し地元のことを紹介します。

私の地元は福井県の勝山市で、人口は 2 万 5 千人と、一宮市に比べると 10 分の 1 以下です。さらに、田んぼや山々に囲まれ、電車も 1 時間に 1 本、テレビも NHK 以外は 2 つしかないという、いなかの中のいなかだと思われます。

しかし、勝山市はいなか特有の良さもあって、休日は祖父母に山につれられて、山菜を取りに行ったり、中学生になると、友人と川に泳ぎに行ったりと、自然の中で育ちました。また、勝山市には恐竜博物館があり長期休暇の時期になると、多くの家族づれの方々が恐竜を観に来られます。そんな、地元で一番の印象に残っているのは冬です。なんととっても雪の量が多く、毎年、除雪機で寄せられた雪によって、歩道が塞がれてしまいます。多い年は、2m 近くも雪が積もる時もあります。また、朝方は特に冷え込み、集団登校では田んぼに積もった雪の上を歩いたり、走ったりすることができます。さらに雪が降ると景色が白一色になり、とても不思議な光景になりますが、その景色が私はとても好きでした。

今回、地元のことを書いてみて、何もない、いなかだと思っていましたが、改めて良い所や好きなどころに気付くことができました。今年の年末は地元へ帰り、またあの雪景色を見たいなと考えています。

協力会員 帰山 純



### ヘルパーだより

NO. 41

A さん夫婦は共に身体障害者で、外出は車イスの生活を送られていました。ご夫婦のケアは平成 5 年、まごころが発足した年に、通院介助の在宅支援から始まりました。

在宅では他に、買い物や調理、掃除等の家事支援をもう一つの事業所と合わせて支援してきました。

2 年前にはご主人が自力で移動困難となられ、施設へ入所されました。一人暮らしになられ 77 歳の A さんも、頑張って生活されていましたが、この 10 月に同じく施設へ入所されました。

A さん夫妻の思い出に残ることは、台風が近づくと用心して施設へ避難され、その時に家の戸締りをしに伺ったりしていました。植木鉢を家の中に入れ、木の雨戸を玄関周りに縛り付けたりしたものでした。また、ボランティア展やふれあいまつりには電動車イスで立ち寄ってくださり、いつもまごころへエールを送ってくださいました。

22 年続いたケアが終わり、淋しい気がします。ご夫婦仲良く元気で暮らして欲しいと願っています。



#### 利用者さんからのことば・・・

長年に渡り、お世話になりました。色々なことが走馬灯のようによみがえってきます。皆さんに支えられて生活できました事感謝しています。ありがとうございました。

#### ヘルパー募集

高齢者の増加と共に、ケア依頼は増えていますが、それを担うヘルパーさんが不足しています。

私たちの仲間になって一緒に活動しませんか？